

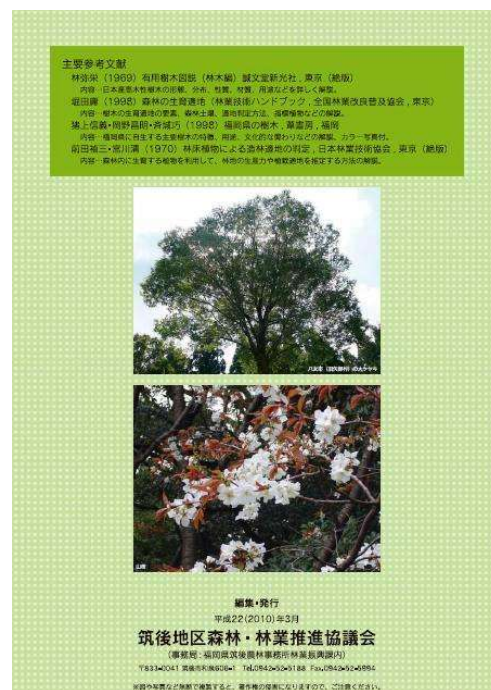


## 林業普及指導員の活動トピックス 筑後農林事務所

「造林のための樹種選定の手引き」 を発行！

近年、県内では広葉樹が各地に造林されるようになりましたが、成功箇所が少ないように思われます。その原因は、主にそれぞれの樹種に適した場所に植えられていないことや下刈り時の誤伐などによるものが多いようです。

特に、林業においては造林の成否を決定する要因の1つとして、樹木は生育に適した場所に植栽する、適地適木が原則です。しかし、針葉樹造林に慣れ親しんだここ数十年の間に、適地を見極める技術が忘れ去られているようです。そこで主な樹種の適地を簡単に選べる「樹種選定の手引き」をつくりました。



刊行に当たり、編集・発行元の「筑後地区森林・林業推進協議会」の事務局である筑後農林事務所の林業普及指導員が、様々な造林地を調査・記録し、参考文献、広葉樹苗の生産情報を検討するなど、その作成に主に関わりました。

今後、森林所有者が造林する際の、樹種選定の参考書として積極的に活用していただき、豊かな森林づくりに寄与できればと思います。

(筑後農林 嶋田)